

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) ナガオ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-0831 岡山県岡山市北区京橋町10番17号	
本票作成	部署名：ナガオ株式会社 宮浦工場 製造部				
主たる業種	分類コード	1	6	業種名：化学工業	
事業の概要	事業内容：水酸化ソーダ、硫化ソーダ製造販売 事業活動の規模：生産量12,000t、従業員数66名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	宮浦工場		岡山県岡山市南区宮浦221	
	②	本社		岡山県岡山市北区京橋町10番17号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成22年度		～	平成26年度 (5 箇年度)	
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率	目標区分	20%以上 20~15% 15~10% 10~5% 5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	3.0 %		○
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成21年度)		目標年度 (平成26年度)		
	5,099 t CO ₂		4,946 t CO ₂		
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成21年度) の排出量	
	①	宮浦工場		5,060 t CO ₂	
	②	本社		39 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	○算定に用いた指標：宮浦工場の生産数量(t)【原液濃度換算実施】		基準年度	目標年度
	○用いた理由：宮浦工場の温室効果ガス排出量が、全体の大部分を占める為		0.408	0.396
		t CO ₂ / (t)	t CO ₂ / (t)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

過去実績より、目標削減率は、3%を妥当とした。
 生産数量は、社会情勢に非常に左右され、温室効果ガス排出量の場合、受ける影響が大きい。
 原単位についても、社会情勢の影響は受けるが、温室効果ガス排出量より影響が小さく、省エネ成果を把握しやすい為、原単位基準を選択した。

【目標削減率達成のための推進体制】

○組織名：省エネ推進委員会
 ○事務局：製造部
 ○推進責任者：製造部部长、委員会リーダー：製造部課長
 年間活動計画を基に、活動を実施し、3ヶ月に1回の頻度で、委員会を開催している。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
宮浦工場	○タンク、配管類への断熱工事の実施。(平成15年～平成21年) ○照明の省エネタイプへの変更。(平成20年～平成21年) ○エアコンの改善【省エネタイプへ変更、遮熱効果の向上】(平成18年～平成21年) ○ボイラ運転の見直し【燃焼調節、スケール除去剤添加、蒸気噴霧量変更】。(平成20年～平成21年) ○スチームトラップの仕様変更と、点検管理の実施(平成21年) ○モーターのインバータ制御(平成18年～平成21年) ○デマンド監視装置の設置(平成15年) ○タンク内液温度管理の見直し(平成16年～平成21年)

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
宮浦工場、本社	○ボイラの更新：高効率ボイラの導入 ○エコカーの導入 ○フレイカー用冷凍機の更新 ○断熱材の再点検と補修 ○水銀灯の省エネタイプへの変更 ○照明の自動点滅の更新 ○エアコンの改善 ○タンク内液温度の見直し ○受電設備の効率化 ○スチームトラップの仕様変更 ○モーターのインバータ制御

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--